

DNP Report

株主通信 (証券コード: 7912)

150th
Anniversary

Vol.125

INDEX

- TOP MESSAGE 株主の皆様へ
- [特集] 未来のあたりまえをつくる。
～半導体関連～
- Pickup News
- 2026年3月期 第3四半期決算のご報告



DNP



代表取締役社長
よしなり
北島 義斉

「より良い未来」の実現に向けて 価値創造の挑戦を続けていきます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまでDNPグループは2026年10月に創業150周年を迎えます。私たちはこれからも「より良い未来」の実現に向けて、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念のもと、価値創造の挑戦をさらに続けていきます。

今年4月には、2026～2028年度の3か年の新中期経営計画をスタートさせ、“非連続な発想による大胆な変革”を一層推進していきます。独自の「P&I」（印刷と情報）の強みの掛け合わせと多様なパートナーとの連携による「P&Iイノベーション」を進めて、業績の拡大に努めます。特に“高いシェア・良好な収益性・持続的な成長性”を備える事業領域に注力し、全体でROE10%以上を、各事業で年平均5%以上の営業利益の成長をめざしていきます。この計画の内容は、2026年3月期の決算発

表時以降、順次お伝えする予定です。

*「P&Iイノベーション」についてはP2の図を、「中期経営計画」についてはP3の図をご参照ください。

*最新情報は、P3の2次元コードも活用していただき、弊社Webサイトでご確認ください。

2023～2025年度の中期経営計画については、「事業戦略」「財務戦略」「非財務戦略」に基づく取り組みを通じて、持続的な事業価値・株主価値の創出に注力してきました。その最終年度となる2026年3月期の第3四半期（2025年4～12月）も、注力事業領域への積極的な成長投資と、M&Aによる相乗効果の拡大などによって、価値の創出を加速させました。三つの事業セグメントで収益の拡大に努めたほか、事業構造改革を継続的に実施しました。

【スマートコミュニケーション部門】：イメージングコミュニケーション関連で写真プリント用部材が欧米・アジア市場で好調に推移しました。また、情報セキュア関連のBPO（Business Process Outsourcing）の大型案件などが、部門全体の売上増加に寄与しました。

【ライフ&ヘルスケア部門】：産業用高機能材関連のリチウムイオン電池用バッテリーパウチが、スマートフォンやタブレット端末の新機種用の需要などが堅調に推移しました。モビリティ関連では、自動車向け加飾フィルムが内装用を中心に堅調に推移しました。事業構造改革としては、2025年10月に生活空間事業とモビリティ事業の統合を行い、“モビリティと住まいがつながるスマート社会”の構築に向けた体制を整えました。

【エレクトロニクス部門】：スマートフォンで有機ELディスプレイの採用が拡がる中、デジタルインターフェース関連で、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクの需要が増え、黒崎工場（福岡県）で生産を開始した大型メタルマスクも売上増に寄与しました。ディスプレイ用光学フィルムは、液晶テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大などにより、堅調に推移しました。半導体関連では、EUV（極端紫外線）マスクやナノインプリントなどの最先端領域への事業展開に取り組みました。半導体関連の取り組みについて、P4-5の特集をご参照ください。

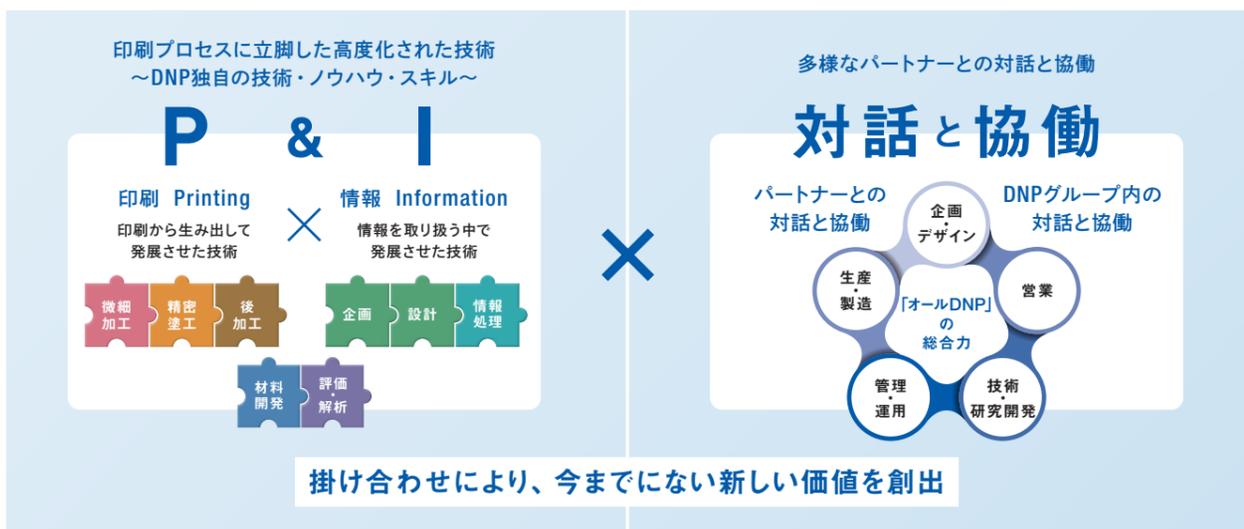
その結果、当第3四半期連結累計期間のDNPグループの売上高は11,282億円（前年同期比4.6%増）、営業利益は763億円（前年同期比21.8%増）、経常利益は875億円（前年同期比9.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却にともなう特別利益の計上もあり、854億円（前年同期比26.4%減）となりました。

DNPはこれからも、「より良い未来」を自ら実現していくため、長期を見据えて変革を起こし、企業としての競争力と持続性を高めていきます。株主の皆様には、引き続きご支援、ご期待を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

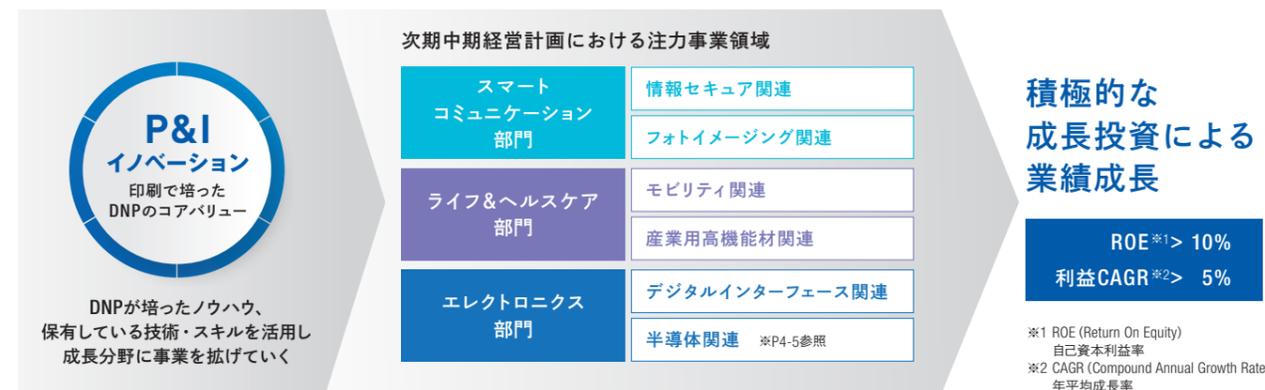
DNPの投資家情報はこちら ▶ <https://www.dnp.co.jp/ir/>



P&Iイノベーション



次期中期経営計画における事業方針



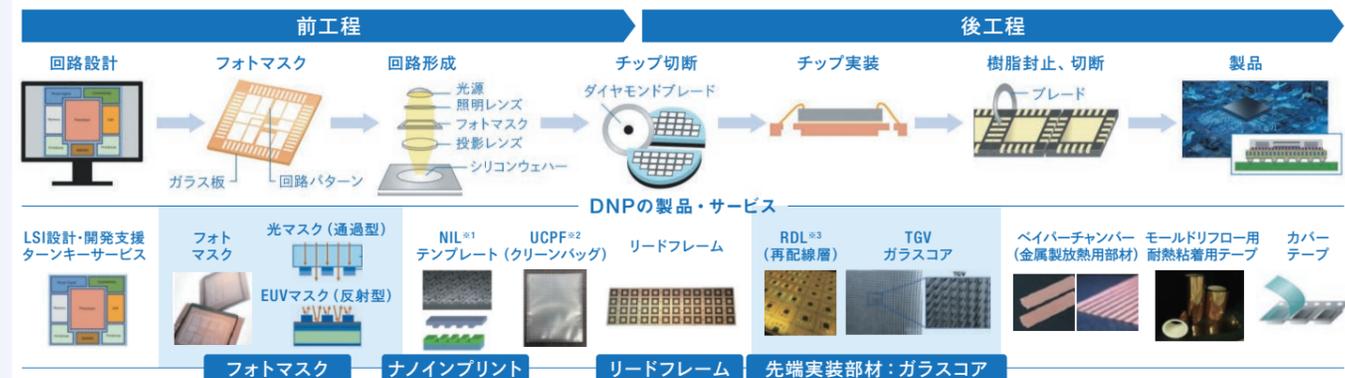
「P&Iイノベーション」で新しい価値の創出を加速

DNPは今、半導体関連事業を注力事業領域の一つに位置づけています。生成AIやデータセンターの広がりなどで世界的に需要が高まる半導体製品。その製造プロセス全体でDNPは多様な製品・サービスを提供しています。(図1参照)

事業ビジョン「P&Iイノベーション」のもと、印刷プロセスに立

脚した独自の印刷(Printing)と情報(Information)の強みを掛け合わせて、新しい価値を創出。半導体関連事業においても、長年培った微細加工や精密塗工などの技術を常に最先端に磨くとともに、DNPと異なる強みを持つパートナーとの積極的なM&Aや業務提携を推進し、企業や生活者が求める価値の創出を加速させています。(図2参照)

図1 半導体製造プロセスとDNPの半導体関連製品・サービス

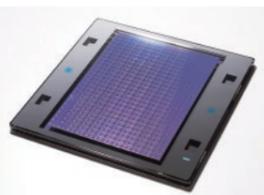


※1 NIL (Nano-Imprint Lithography: ナノインプリントリソグラフィ) ※2 UCPF (Ultra Clean Peelable Film: クリーンバッグ) DNPのラミネート・コーティング技術を採用し、半導体の生産工程で使用される高機能フィルム
※3 RDL (Redistribution Layer) 複数のチップレット間やチップと外部基板を接続し、高速・高効率なデータ伝送を実現する多層配線

半導体製造プロセスの前工程

■半導体製造用原版「フォトマスク」

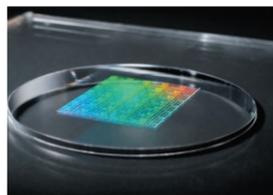
半導体回路の微細なパターンを光を使って基板に転写する際に、写真のネガのような役割を果たすガラス板がフォトマスクです。DNPは微細加工技術を独自に進化させて、多様なフォトマスクを提供しています。1959年に成功したトランジスタ用蒸着マスクの開発に始まり、現在はテクノロジーノードが2ナノメートル(nm:10億分の1m)レベルのパターンの解像にも成功し、エレクトロニクス製品の進化に貢献しています。



EUV(極端紫外線)用フォトマスク

■ナノインプリントリソグラフィ(NIL: Nano-Imprint Lithography) 用テンプレート

ナノインプリントリソグラフィは、版(テンプレート)を基板に圧着させて、テンプレート上に形成した回路パターンを基板に塗布した樹脂に超微細な凹凸として転写する技術です。最先端の半導体製品に対応するとともに、製造プロセスの消費電力を大幅に低減する手法として注目されています。



半導体製造プロセスの後工程

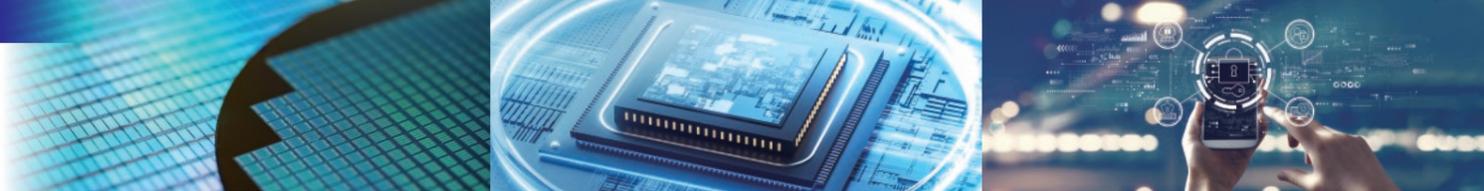
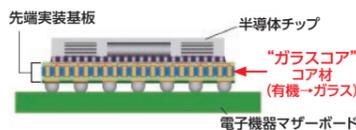
■リードフレーム

DNPは、半導体チップを固定・接続する基材であるリードフレームの生産を1964年に開始。その後も常に半導体製品の高性能・多機能化や小型・軽量化などのニーズを先取りし、多様な製品を開発・提供しています。



■次世代半導体パッケージ用TGV(Through Glass Via: ガラス貫通電極) ガラスコア基板

半導体パッケージ用の基板はこれまで、有機材料をベースとしたコア材が多く使われてきました。現在、この材料より平坦性が高く、反りの少ないガラスが、回路パターンの微細化とチップの大型化に合わせてコア材として注目されています。DNPは、液晶ディスプレイ用カラーフィルターで培った、薄い大型ガラスを適切に扱う技術と、微細加工技術を掛け合わせてガラスコアを開発。ガラスの表と裏を接続する微細で高密度な貫通電極(TGV)の形成も実現しました。新たな成長を牽引する事業として開発を加速させていきます。

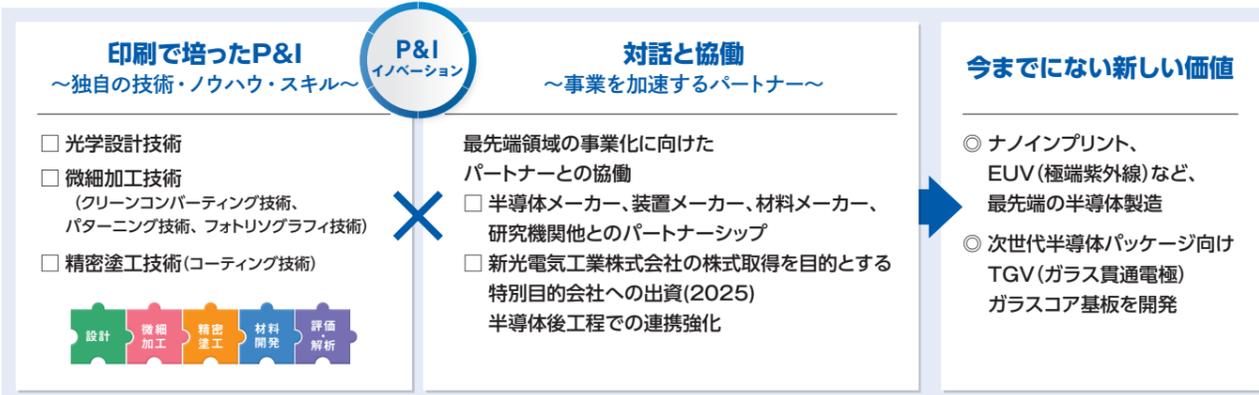


注力事業領域 エレクトロニクス部門 半導体関連

収益性	成長性	市場シェア
2024年度売上高	市場環境 (CAGR 2024-29年)	高いシェアを誇る主力商材
約660億円	約8% 半導体市場	半導体製造用フォトマスク 外販用フォトマスクでトップレベルのシェア



図2 「P&Iイノベーション」による価値創出



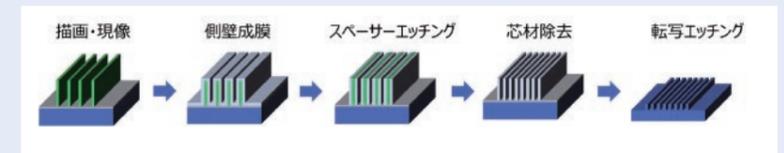
TOPICS 注力事業領域 半導体関連への積極投資

2025年12月9日発表

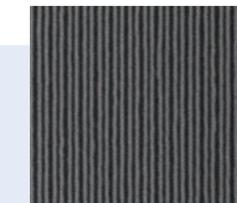
最先端半導体向けに回路線幅10nmのナノインプリント用テンプレートを開発 1.4nm 世代相当の半導体用の回路線幅微細化と製造コスト削減に対応

近年、多様な機器の高性能化にともない、先端半導体の一層の微細化が求められています。そのため、EUV(Extreme Ultra-Violet: 極端紫外線)リソグラフィによる製造が進んでいますが、生産ライン構築や露光工程に比較的多くのコストや電力が必要という課題がありました。この製造コスト削減と環境負荷低減の両立というテーマに対してDNPは今回、ロジック半導体の先端品の製造を可能にする回路線幅10nmのNIL用テンプレートを開発しました。

EUVリソグラフィの製造プロセスに関して、それを持たない顧客企業や一部工程の置き換えなどのニーズに対応します。



○描画装置によって形成したパターンに成膜・エッチングを施してパターンの密度を2倍にするダブルパターニング(Self-Aligned Double Patterning: SADP)を活用して、NILテンプレートの微細化を実現しました。



NIL用フォトマスク上の線幅10nmのパターンの例

2025年12月16日発表

TGVガラスコア基板のパイロットラインを久喜工場(埼玉県)に新設

DNPは2023年に、従来の有機材料に替わって利用の拡大が見込まれるガラスを材料にしたTGVガラスコア基板(P4参照)を開発しました。現在、次世代半導体に向けて、多くの企業がガラスをコア材とした基板の検証、信頼性評価を加速させています。こ

した動きに対してDNPは今回、TGVガラスコア基板製造用のパイロットラインを新設し、順次稼働を開始しました。2026年にサンプルの提供を開始し、企業とマーケットの動向を見ながら、2028年度の量産開始に向けた体制を構築していきます。

久喜工場の外観/
TGVガラスコア基板の
パイロットライン



Pickup News

社外メディア掲載 2025年12月16日記事掲載

読売新聞「LEADERS」～経営者に聞く～がDNPの取り組みを紹介

同紙の連載企画「LEADERS」で、より良い未来の実現に向けて価値を創出するDNPの姿を取り上げていただきました。DNPの代表取締役社長・北島義斉が、印刷プロセスに立脚した技術等を強みとして変革を重ねてきた軌跡と、「第三の創業」に込めた未来への想いを語っています。記事はDNPのWebサイト掲載のPDFでお読みいただけます。ご覧いただけると幸いです。



「LEADERS」の記事はこちら

https://www.dnp.co.jp/news/detail/20177804_1587.html

※この記事(PDF)は、読売新聞社の許諾を得て2026年1月から3年間掲載します。禁無断転載。



2025年12月16日 読売新聞「LEADERS」印刷技術で世の中を豊かに

2025年12月17～19日開催

半導体関連の国際展示会「SEMICON Japan 2025」に出展

EUVリソグラフィ用フォトマスクやTGVガラスコア基板(P4-5参照)などを展示

DNPは、東京ビッグサイト(国際展示場)で開催された「SEMICON Japan 2025」に出展。半導体回路の設計等を含む「前工程」と、パッケージ等の「後工程」で価値を高める多様な製品・サービスをアピールしました。DNPは引き続き、独自の微細加工や精密塗工の技術等を活用して、半導体製造用の回路原版・フォトマスクや次世代半導体パッケージ用部材などを開発し、サプライチェーン全体に欠かせない価値を提供していきます。



画面キャプチャ



DNPの半導体関連事業の紹介動画

https://www.dnp.co.jp/news/detail/20177589_1587.html



2nm世代EUV向けフォトマスク

DNPブースのイメージ

2026年1月6～9日開催

世界最大級のIT見本市「CES 2026」に電子シェードを出展

GHLC*方式で自動車内への光を制御するフィルム製品をアピール

DNPは、米国ネバダ州ラスベガスで開催された「CES(Consumer Electronics Show) 2026」に、車載向けの電子シェードを出展しました。この製品は、DNPの精密塗工とフィルム加工の技術を活かした調光フィルムです。光の遮光と透光を電気的に制御するGHLC方式で、車内のプライバシーを保護するとともに、つなぎ目のない(シームレスな)洗練されたデザインを演出します。AlphaMicron, Inc.とDNPの合弁会社・AKARI, LLCとともに「オールDNP」で出展しました。



* GHLC (Guest-Host Liquid Crystal) : 液晶に特殊な色素(染料)を混ぜ、電圧による液晶の配向変化を利用して“遮光量”を変える調光技術



画面キャプチャ



電子シェードの紹介動画

https://www.dnp.co.jp/news/detail/20177762_1587.html

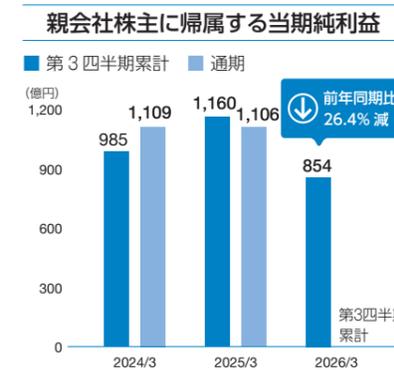
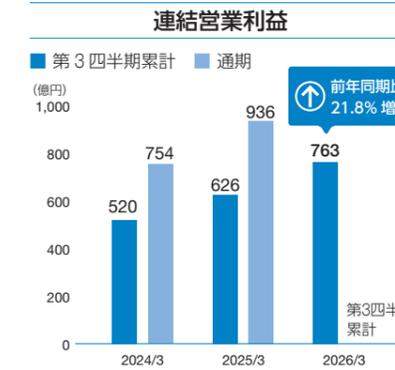
2026年3月期 第3四半期決算のご報告 (2025年4月1日～2025年12月31日)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	11,282	10,790
営業利益	763	626
経常利益	875	797
親会社株主に帰属する 四半期純利益	854	1,160

科目	2026年3月期通期(対前期増減率)
売上高	15,150 (+3.9%)
営業利益	1,030 (+10.0%)
経常利益	1,160 (+0.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000 (△9.7%)

1株当たり当期純利益226円57銭*

*2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割した影響を考慮しています。



科目	当第3四半期 連結会計期末	前連結会計年度末
資産の部	19,803	19,178
流動資産	8,567	8,246
固定資産	11,235	10,931
負債の部	7,619	7,090
流動負債	3,834	4,357
固定負債	3,784	2,732
純資産の部	12,184	12,087

スマートコミュニケーション部門



写真プリント用昇華型熱転写記録材

売上高 5,506億円 前年同期比 5.4% 増
営業利益 264億円 前年同期比 29.8% 増

写真プリント用部材やIDカード用インクリボンが好調に推移したほか、BPOの大型案件などが増加。人的資本や固定資産の適正化などの事業構造改革により、増収・増益となりました。

ライフ&ヘルスケア部門



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

売上高 3,904億円 前年同期比 4.2% 増
営業利益 284億円 前年同期比 69.9% 増

IT向けのリチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材などの注力事業が増加。固定費等のコストダウン、固定資産の適正化などの事業構造改革により、増収・増益となりました。

エレクトロニクス部門



ディスプレイ用光学フィルム

売上高 1,888億円 前年同期比 3.0% 増
営業利益 416億円 前年同期比 2.4% 減

光学フィルムや有機ELディスプレイ製造用メタルマスクが増加したものの、為替の影響に加え、半導体製造用フォトマスクの設備投資および開発投資で固定費が増加した影響を受け、増収・減益となりました。

DNPのWebサイトのご案内

当社Webサイトでは、最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。

●DNPのWebサイトURL

トップページ <https://www.dnp.co.jp/>

投資家情報 <https://www.dnp.co.jp/ir/>

株主通信「DNP Report」 <https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/>

サステナビリティ <https://www.dnp.co.jp/sustainability/>

DNPの一面! DNP FUTURE PRESS <https://www.dnp.co.jp/brand/>



投資家情報トップページ



トップページ



150周年ロゴマークについて

本ロゴマークは、DNPグループ創業150周年を記念し、全従業員を対象とした公募で選ばれた案をもとに制作しました。

コンセプト “印刷”から広がる可能性。常に変化しながら、未来を創造し続けるDNP。

インクの網点のような模様と変化するグラデーションで、印刷技術の応用・発展によるDNPの事業展開の歴史と未来を訴求。色彩の重なりは、「対話と協働」で新しい価値を生み出すように、独自性を活かした多様な強みの掛け合わせを表現しています。ロゴを囲む矩形はこれまで培った信頼・強みを象徴し、柔軟に変化しながらも主体的に「より良い未来」の実現に挑戦し続けるDNPの姿を示すデザインです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のWebサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 証券会社等に口座をお持ちの株主様
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
※転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。

※当社は、2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL : 03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。